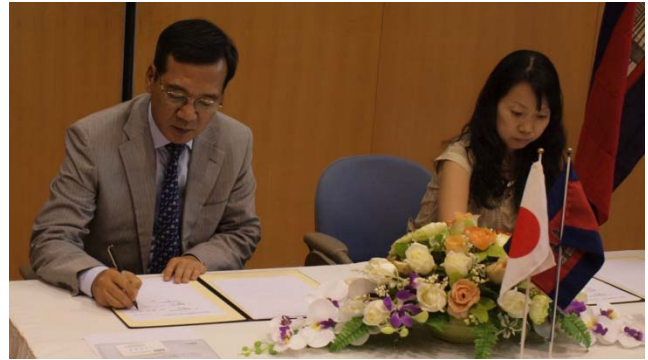


平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

6月25日（月）、平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使と特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパンの久米由美子カンボジア事務所所長代行が、「コンポントム州母子保健改善に向けた健康な村作り事業 フェーズⅠⅠ」（供与限度額：121,828米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

本案件では、ピープルズ・ホープ・ジャパンが母子保健改善の必要性が特に高いカンボジア農村部のコンポントム州バライ郡及びサントウク郡の村において、地域住民自らが母子保健改善の実践者となることを目的として、衛生及び保健教育、トイレ建設等の活動を実施します。また、州保健医療行政機関と連携し、農村部のコミュニティー内で母子保健推進を担う保健ボランティアの育成を支援します。ピープルズ・ホープ・ジャパンはこれまでも同地域で母子保健活動を続け実績を積んでおり、地域住民主体の活動を推進することで、さらなる母子保健状況の改善を目指します。



式典では、黒木雅文大使がスピーチを行い、本事業の実施により、対象地域の住民が、母子保健や衛生に関する知識を高め、地域における母子保健サービスを有効利用し、より健康で衛生的な生活を送ることを期待されると述べました。続いて、久米由美子カンボジア事務所所長代行が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後も地域住民および関係者と協力して、地域住民自身が母子保健活動を実践できるように事業を実施していく決意を述べました。

